

事務事業評価&総合計画実施計画調査シート

コード	名称		区分	コード	名称	
事業名	896	畜産振興事務経費	会計	01	一般会計	
基本	43	伊賀ブランドの価値を高め、売り出す	款	06	農林業費	
策			項	01	農業費	
			目	08	畜産業費	
	4	高付加価値化の推進	細目	101	畜産振興事務経費	
			細々目	01	畜産振興事務経費	
基本計画該当頁			163		行革大綱の重点事項番号	
担当部課	コード	703500	評価者氏名	澤井成之		連絡先
	名称	大山田支所産業建設課		47 - 1157		(内線)

事業の計画・内容

事業目的	対象等(何を、誰を)	成果(どうなるのか)
伊賀牛生産農家	(※対象件数)	経営に係る経費が補われる。
根拠法令・要綱等 支所関係補助金等交付要綱		
開始年度	平成 年度	関連事業
終了年度	平成 年度	
事業内容	伊賀牛の高付加価値及びブランド化のため、大山田畜産部会に対し、素牛導入助成として、1頭当たり4,500円を支出した。優良素牛導入事業助成金 140頭 630,000円	畜産部会への補助金の削減により、優良素牛導入事業の増加を図る
		状況変化等

整備内容

1 建設用地	千円
2 建設面積(延床面積)	
3 規模・構造	
4 総事業費	

運営体制

1 運営主体	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 民間委託等
委託先	人 千円
2 配置(予定)人員	
3 年間運営費	
4 市内の類似施設	

事業種別	継続	単独	事業類型	I	ソフト事業	2次評価対象分
------	----	----	------	---	-------	---------

事業実績

活動指標	単位	実績値		目標値	
		H18	H19	H20	H21
助成頭数	頭	目標	50	目標	140
		実績	50	実績	140
		目標		目標	
		実績		実績	
		目標		目標	
		実績		実績	

評価指標

事業の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	実績値		目標値	
			H18	H19	H20	H21
優良素牛導入数	導入数=販売数なので導入頭数は畜産振興の指標となる	頭	目標	100	目標	140
			実績	100	実績	140
			目標		目標	
			実績		実績	

評価

評価項目	ポイント	評価項目についてのコメント
必要性	4	優良素牛の導入により、ブランドとしての維持発展が図られる。
有効性	3	導入価格の1%程度の助成額で、額の引き上げを検討しないと有効性は薄れる。
達成度	3	計画どおり達成できた。
効率性	3	各支所の事務を本庁に集約することができる。

総合評価	事業の方向性	改善についての取り組み
A	変更	本庁で集約するなど予算措置等検討する必要がある。

進捗状況	年度	平成18年度 決算内容				平成19年度 決算内容				平成20年度 計画内容				平成21年度 計画内容				平成22年度 計画内容				平成23年度 計画内容				
		事業内容	数量	単位	金額																					
委託	↔	優良素牛導入事業助成金	200		(千円)	優良素牛導入事業助成金	630		(千円)	優良素牛導入事業助成金	417		(千円)	優良素牛導入事業助成金	630		(千円)	優良素牛導入事業助成金	630		(千円)	優良素牛導入事業助成金	630		(千円)	
																										事業費計(A)
進捗率(%)																										
事業投入人員		人件費(B)	0.2	人	1,152	人件費(B)	0.2	人	1,296	人件費(B)	0.2	人	1,440													
フルコスト(A)+(B)					1,352				1,926				1,857				2,070				2,070				2,070	

事業費(人件費除く)の財源内訳

(A)	事業費	200	630	417	630	630	630
Aの財源内訳	国庫支出金						
	県支出金						
	地方債						
	受益者負担						
	その他						
	一般財源	200	630	417	630	630	630
	計	200	630	417	630	630	630
備考	その他特定財源の名称・補助基本額・率 地方債の区分と充当率等						